

みずほCustomer Desk Report 2022/10/03号(As of 2022/09/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.81
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	144.41	0.9830	141.89	1.1172	0.6509
SYD-NY High	144.81	0.9854	142.31	1.1235	0.6523
SYD-NY Low	144.20	0.9734	139.75	1.1025	0.6390
NY 5:00 PM	144.75	0.9800	141.98	1.1165	0.6411

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	28,725.51	▲ 500.10	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	10,575.62	▲ 161.89	日本10年債	0.2400%	▲0.0100%
S&P	3,585.62	▲ 54.85	米国2年債	4.2705%	0.0802%
日経平均	25,937.21	▲ 484.84	米国5年債	4.0857%	0.0703%
TOPIX	1,835.94	▲ 32.86	米国10年債	3.8276%	0.0481%
シゴ日経先物	25,945.00	▲ 245.00	独10年債	2.1075%	▲0.0965%
ロンドンFT	6,893.81	12.22	英10年債	4.0935%	▲0.0435%
DAX	12,114.36	138.81	豪10年債	3.8850%	▲0.0500%
ハンセン指数	17,222.83	56.96	USDJPY 1M Vol	12.00%	▲0.41%
上海総合	3,024.39	▲ 16.81	USDJPY 3M Vol	12.30%	▲0.29%
NY金	1,672.00	3.40	USDJPY 6M Vol	11.89%	▲0.29%
WTI	79.49	▲ 1.74	USDJPY 1M 25RR	▲1.57%	Yen Call Over
CRB指数	268.29	▲ 2.86	EURJPY 3M Vol	13.91%	▲0.09%
ドルインデックス	112.12	▲ 0.14	EURJPY 6M Vol	13.72%	

東京	東京時間のドル円は、期末のフローに振られながらも上値の重さが意識される値動き。144.41レベルでオープン後、仲値にかけて買われた勢いのまま、午前中には一時144.77まで上昇。ただ為替介入実施後から意識されている145円台を前に勢いは止まり、上値は重く推移。その後はじりじりと下落する流れとなり、結局オープンと同水準の144.48レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.48レベルでオープン。昨日と同様のレンジ内で推移し144.64レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.1172レベルでオープン。朝方は英トラス政権が減税策について予算当局者と話し合うとのヘッドラインにポンドは買われ1.1235まで上昇。しかし会合後に予算案の変更をしないとの報道に反落すると今度は1.1025まで下落。結局1.1042でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではトラス英首相が予算局と協議とのヘッドラインにポンドドルが急伸したことから、USD/JPYは144.20まで下落するが、英財務省が財政政策を変更しないと発表したことからポンドドルが下落する展開にドル円も値を戻し144.64レベルでNYオープン。朝方は米8月個人所得が予想と一致するが、個人支出が予想を上回り、PCEコアデフレーターが予想を上回ったこともあり、144.73まで上昇する。しかし日銀の介入警戒からか144.43まで反落する。その後発表された9月シゴPMIは予想を大きく下回り、続いて発表された9月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報値)は現況が予想を上回るが先行景況感が予想を下回り、インフレ期待も1年後は予想を上回るが、5～10年後は予想を下回り、強弱混在の内容にドル円の反応は限定的となった。11時のロンドンフィクスに掛けて144.80まで上昇した後は、一旦反落するが、午後に入り米金利が上昇する展開に144.81まで戻し、144.75レベルでクロスした。一方、ユーロドルはポンドドルの上昇につれて0.9854まで上昇するが、ポンドドルが反落する動きに連れ安となり、0.9746レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ0.9734まで下落するが一旦反落したポンドが再び買い戻される展開にユーロドルも0.9818まで戻す。午後は週末を控え方向感のない推移が続き0.9800レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・西

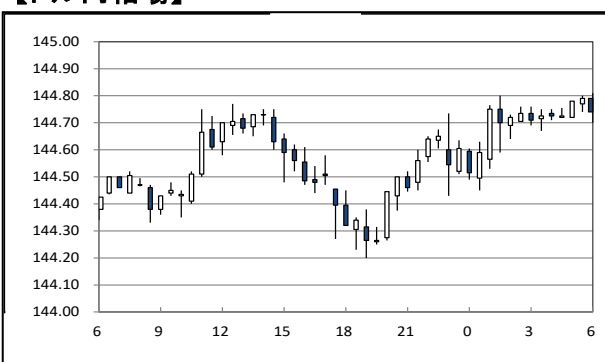
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月30日	18:00	欧 失業率	8月 6.6%	6.6%
	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	9月 1.2%/10.0%	0.9%/9.7%
	18:00	欧 コアCPI・速報	9月 4.8%	4.7%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.3%/6.2%	0.1%/6.0%
	21:30	米 個人所得(前月比)	8月 0.3%	0.3%
	21:30	米 個人支出(前月比)	8月 0.4%	0.2%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 58.6	59.5

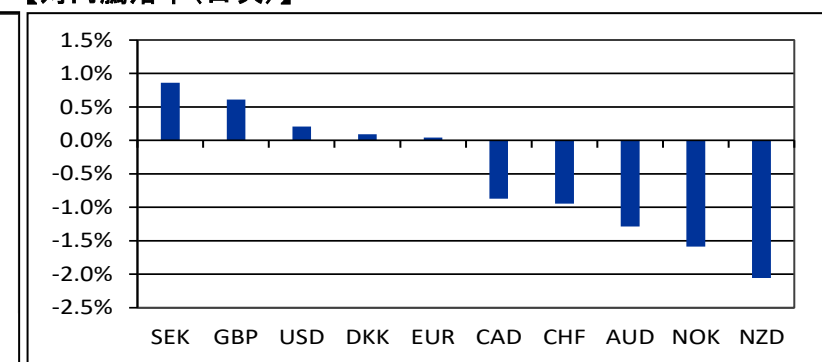
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月3日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	08:50	日 短観 大企業製造業	3Q 10	9
	08:50	日 短観 大企業製造業予測	3Q 11	10
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 -0.3%	-0.4%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 52.1	52.8
10月4日	04:10	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.80-145.50	0.9700-0.9950	141.00-142.80

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は、月末の実需ドル買いフローにサポートされ東京仲値にかけて上昇し上値を試すもレンジブレイクならず。その後、海外時間には米9月ミシガン大消費者マインドは現況と先行きで強弱まちまちの結果となるも、米8月PCEコアデフレーター(前年比)が市場予想を上回り米金利も上昇したことが好感され、144.81まで上昇。もっとも145円を前に失速し144.75レベルで越過。本日のドル円は、引き続き本邦日銀・政府の追加介入に警戒しつつも高値圏でのみ合いを想定。先月FOMC後も相次ぐFRB関係者のタカ派発言を背景とした米金利の上昇や、ドルインデックスの上昇を睨みつつドルは底堅い推移を見込む。英国財政懸念に端を発するロンドン市場の混乱は週末にかけて小休止したもの今後の金融政策の行方は難しく予断を許さない状況であり、また欧州ではエネルギー供給不安に加え、ロシアによるウクライナ東部四州の併合によりウクライナ情勢が一段と緊張する中、リスクオフによるドル買いも持ち込まれやすく、ドル円は上値を試す展開を予想。